

PI3K/Akt 経路との関連. 第 49 回レンサ球菌研究会, 新潟, 2017 年 6 月 17-18 日, 抄録集 17 頁, 2017.

- 13) 齊藤一誠: 小児期の口腔機能の発達と口呼吸症候群について. 松風歯科クラブ臨床講座, 名古屋, 2017 年 5 月 14 日.

#### 【受賞】

- 1) 野上有紀子: 我が国の口呼吸症候群小児は増加傾向にあるのか?. 第 55 回日本小児歯科学会大会 町田賞 優秀学会発表賞, 2017 年 5 月 25-26 日, 2017.
- 2) 齊藤(岩瀬)陽子: 小児における過剰菌の有無が菌列形態に与える影響. 一般社団法人日本小児歯科学会 “町田賞” 研究奨励賞, 2017.

#### 【その他】

- 1) 齊藤一誠: 口呼吸症候群と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 第 35 回日本小児歯科学会 九州地方会大会及び総会 ランチョンセミナー, 佐賀, 2017 年 11 月 19 日.
- 2) 大島邦子: 明日から役立つ臨床カンファレンス 歯内療法 (乳歯). 第 35 回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 山形, 2017 年 10 月 8 日.
- 3) 齊藤一誠: 口呼吸症候群と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 日本小児歯科学会関東地方会 第 32 回大会・総会 ランチョンセミナー, 松戸, 2017 年 10 月 1 日.
- 4) 黒澤美絵: 小児の口腔と感染症との関わり. 第 56 回新潟県小児保健研究会, 新潟, 2017 年 9 月 6 日.
- 5) 齊藤一誠: 口呼吸症候群と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 9th World implant Orthodontic Conference ランチョンセミナー, 神戸, 2017 年 7 月 2 日.
- 6) 齊藤一誠: 口呼吸症候群と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 第 55 回日本小児歯科学会大会及び総会 ランチョンセミナー, 北九州, 2017 年 5 月 25-26 日.
- 7) 岩瀬陽子: 平成 29 年度 新潟大学 上位職シャドウイング研修派遣制度 研修採択, 2017.

#### 【著書】

- 1) 冠橋義歯補綴学テキスト第 2 版(永末書店): 魚島勝美 他. 11-24, 225-232. 2017/3/16
- 2) よくわかる口腔インプラント学第 3 版(医歯薬出版): 魚島勝美他. 173-174. 2017/2/10

#### 【論文】

- 1) Kuroshima S, Kaku M, Ishimoto T, Sasaki M, Nakano T, Sawase T. A paradigm shift for bone quality in dentistry: A literature review. J Prosthodont Res. Oct;61(4):353-362. 2017.
- 2) Kaku M, Komatsu Y. Functional Diversity of Ciliary Proteins in Bone Development and Disease. Curr Osteoporos Rep. Apr;15(2):96-102. 2017
- 3) Kaku M, Kitami M, Rosales Rocabado JM, Ida T, Akiba Y, Uoshima K: Recruitment of bone marrow-derived cells to the periodontal ligament via the stromal cell-derived factor-1/C-X-C chemokine receptor type 4 axis. J Periodontol Res(2.662). 52 巻 4 号 686-694. 2017.8
- 4) Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K.: Biological Evaluation of Implant Drill Made from Zirconium Dioxide. Clinical Implant Dentistry and Related Research. Apr;19(2):306-315. 2017.
- 5) Saito N, Kato H, Akiba Y, Kojima T, Yopshizawa M, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T, Izumi K.: Application of Hypoxic Exposure Combined with Osteogenic Induction for the Enhancement of Multiple Osteoinductive Capabilities in Rat Mesenchymal Cells. Open Journal of Stomatology. Feb;8;(2):53-69, 2018
- 6) Terajima M, Taga Y, Cabral WA, Nagasawa M, Sumida N, Hattori S, Marini JC, Yamauchi M: Cyclophilin B Deficiency Causes Abnormal Dentin Collagen Matrix. J Proteome Res. 4;16(8):2914-2923, 2017.
- 7) 黒嶋伸一郎, 加来 賢, 石本卓也, 佐々木宗輝, 中野貴由, 澤瀬 隆: 「骨質研究がもたらす歯科補綴の治療イノベーション」 歯科補綴学における骨質のパラダイムシフト. 日補綴会誌. 10(1):1-15, 2018.
- 8) 藤井規孝, 竹中彰治, 多部田康一, 佐藤直子, 秋葉奈美, 小田陽平, 勝見祐二, 小野和宏, 前田健康: 新潟大学歯学部臨床実習における臨床能力評価. 日歯教誌 33(1):4-11, 2017.
- 9) 秋葉奈美, 長澤麻沙子, 小野和宏, 前田健康, 魚島勝美. 新潟大学歯学部における統合型模型実習の取り組み. 日歯教誌 33(2):106-114, 2017.
- 10) 鶴田潤, 熊谷直太, 魚島勝美, 木本克彦: 補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか? -欧米の

プログラムに学ぶ。日補綴会誌. 9 卷 1 号 16-32. 2017

#### 【商業誌】

#### 【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美：骨質（コラーゲン）が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293408, 2017.
  - 2) 加来 賢：歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293407, 2017.
  - 3) 加来 賢：歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発。日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金, 15KK0337, 2017.
  - 4) 加来 賢：幹細胞の分化制御を指向した高架橋コラーゲン・スキャフォールドの開発。日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K15704, 2017.
  - 5) 秋葉陽介：ナノサイズチタン構造による細胞活性制御技術の開発。戦略的「超域」研究の活性化 510209, 2017.
  - 6) 秋葉奈美：多機能性エピジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ。日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C)26462915, 2017
  - 7) 長澤麻沙子：骨髄細胞の機能を介した局所の破骨細胞分化制御機構の探索。日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 代表, 15K20431, 2017.
  - 8) 青柳裕仁：SiC 繊維強化型歯科用高分子複合材料の開発。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 17K11177, 2017.
  - 9) JM Rosales Rocabado : Role of intra and extracellular miRNAs in stem cell-based bone regeneration, 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 16K20492, 2017.
  - 10) 江口香里：IGFBP-3 を起点とする骨代謝制御を介した新規骨増生法開発。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22879564, 2017.
- #### 【招待講演・シンポジウム】
- 1) Taka N., Aoyagi Y., Uoshima K.: Effect of silanization on mechanical properties of experimental SiC fiber reinforced composite resin. International Symposium on Development of human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Jakarta, Indonesia, Feb 12, 2018.
  - 2) Hamaya K, Nagasawa M, Arai Y, Hoshina H. Uoshima K: Dental Implant Application to the Patients with Cemento-Osseous Dysplasia; Case Reports. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University–Schools of Dentistry Taiwanese Universities“Shaping the future of the collaborations in dentistry.” Taipei, Taiwan. 2017. 11.18-19. Abstracts & Program book: 43.
  - 3) Takaoka Y, Akiba Y, Nagasawa M, Aoyagi Y, Uoshima K: Analysis of metallic dental prosthesis removal and periapical lesion treatment in metal allergy patients visiting Niigata University medical and dental hospital from 2009 to 2016. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University–Schools of Dentistry Taiwanese Universities“Shaping the future of the collaborations in dentistry.”, Taiwan, Nov 19, 2017.
  - 4) Takeuchi H, Akiba Y, Uoshima K: The study of tissue formation control by nano-structure titanium. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University–Schools of Dentistry Taiwanese Universities“Shaping the future of the collaborations in dentistry.”, Taiwan, Nov 19, 2017
  - 5) 加来 賢. コラーゲンと細胞の多様性から見た歯根膜 BioForum@Dental School, 岡山大学, 岡山, 2017 年 4 月 21 日
  - 6) 秋葉陽介 : Joint ADEE/ADEA Meeting : Shaping the Future of Dental Education (London, 8-9 May 2017) 参加報告, Theme3: The impact of new technological and scientific discoveries on traditional dental education. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 松本, 2017 年 7 月 29 日, 同学術集会プログラム : 91 頁, 2017.
  - 7) 秋葉陽介 : チタン表面の規格化ナノ構造形成による周辺細胞制御技術とこれを応用した次世代インプラントの開発. 第 33 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」, 東京, 2017 年 8 月 31 日。
  - 8) 長澤麻沙子 : インプラント表面性状と周囲に存在する細胞との埋入初期における相互作用. 第 8 回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部学術シンポジウム, 東京, 2017 年 8 月 6 日
  - 9) 長澤麻沙子 : Joint ADEE/ADEA Meeting : Shaping the Future of Dental Education (London, 8-9 May 2017) 参加報告, テーマ 4 Assessment in a global context. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 松本, 2017 年 7 月 29 日, 同学術集会プログラム : 91 頁, 2017.

- 10) 魚島勝美: 補綴装置の術後管理—装着後に発生する問題とその対応—. 日本補綴歯科学会関西支部専門医研修会, 大阪. 2017/1/22

#### 【学会発表】

- 1) Kaku M, Terajima M, Yamauchi, Komatsu Y., The Role of Ciliary Protein for Bone Homeostasis in Neural Crest Cells. Gordon Research Conference, Craniofacial Morphogenesis and Tissue Regeneration, Lucca, Italy, Feb 11-16, 2018.
- 2) Nagasawa M, Akiba N, Akiba Y, Uoshima K: A Renovated Active Learning Program for Fixed Partial Denture Course in Niigata University. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University—Schools of Dentistry Taiwanese Universities“Shaping the future of the collaborations in dentistry.”Taipei, Taiwan. 2017. 11.18-19. Abstracts & Program book: 70.
- 3) Suliman M, Nagasawa M, Alomari F, Uoshima K: Collagen quality might influence tissue response at implant site and surrounding tissues in vivo. 26th annual scientific meeting of the European association for osseointegration, Madrid, 2017. 10. 5-7. Abstracts & Program book: no7195.
- 4) Akiba Y: Acceleration of osteogenesis through cell recruitment and angiogenesis. International Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Niigata University—Schools of Dentistry Taiwanese Universities“Shaping the future of the collaborations in dentistry.” Taipei, Taiwan. 2017. 11.18-19
- 5) 秋葉奈美, 天雲太一, 富士岳志, 首藤崇裕, 小野和宏, 吉羽邦彦, 二川浩樹, 津賀一弘, 田地 豪, 加藤功一, 佐々木啓一, 魚島勝美, 前田健康: 標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発 第4報, 第36回日本歯科医学教育学会, 松本, 2017年7月29日, プログラム・抄録集: 118頁, 2017.
- 6) 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 富士岳志, 三村純代, 首藤崇裕, 石田陽子, 秋葉奈美, 魚島勝美, 小野和宏, 高橋信博, 二川浩樹, 加藤功一, 佐々木啓一, 前田健康: 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム. 第36回日本歯科医学教育学会, 松本, 2017年7月28日, プログラム・抄録集: 125頁, 2017.
- 7) 長澤麻沙子, 秋葉奈美, 秋葉陽介, 青柳裕仁, 魚島勝美: 能動的学習法を取り入れた新たな冠・ブリッジ実習プログラム. 平成29年度日本補綴歯科学会

- 関越支部・総会・学術大会, 栃木, 2018年1月20日. プログラム: 14頁.
- 8) 青柳裕仁, 高 昇将, 木村龍弥, 大川成剛: SiC 繊維—アクリル複合体の機械的強度. 平成29年度秋季第70回日本歯科理工学会学術公演会, 新潟, 2017年10月14日
- 9) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 大川成剛: SiC 繊維強化型コンポジットレジンの機械的性質. 平成29年度秋季第70回日本歯科理工学会学術公演会, 新潟, 2017年10月14日
- 10) 大川成剛, 高 昇将, 青柳裕仁, 泉 健次: 紫外線によって表面改質したPEEKの接着特性について. 平成29年度秋季第70回日本歯科理工学会学術公演会, 新潟, 2017年10月14日
- 11) 宇尾基弘, 和田敬広, 青柳裕仁, 秋葉陽介: 放射光蛍光X線分析による口腔扁平苔癬組織中の歯科用合金由来成分の検出. 平成29年度秋季第70回日本歯科理工学会学術公演会, 新潟, 2017年10月15日
- 12) スリマンムバラク, 長澤麻沙子, 水島一尊, アルオマリーファラ, 魚島勝美: コラーゲン架橋構造がラットのオッセオインテグレーションに与える影響について. 第126回日本補綴歯科学会学術大会, 横浜, 2017年6月30日、7月1-2日、プログラム抄録集: 45頁.
- 13) 高岡由梨那, 宮福子, 長澤麻沙子, 秋葉奈美, 秋葉陽介, 魚島勝美: 歯科金属アレルギーに対する治療関連データを用いたアレルギー症状 発症原因因子の検討, 第126回日本補綴歯科学会学術大会一般口演, 横浜, 2017年7月1日
- 14) 竹内陽香, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里, 高岡由梨那, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 規格化ナノチタン構造によるインプラント周辺細胞制御: 平成29年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会 関越支部学術大会, 栃木, 2018年1月20日.
- 15) 魚島勝美, 星名秀行, 永田昌毅, 山田一穂, 小川信, 上松晃也, 今井秀明, 高木律男: 再生医療新法施行後の骨再生療法の実施現況と包括的施用基準確立の取り組み. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会. 仙台. 2017/9/24
- 16) 星名秀行, 勝見祐二, 山田一穂, 上松晃也, 今井秀明, 魚島勝美, 高木律男, 金丸祥平, 小田陽平, 小林正治: 下顎骨臼後管の損傷による合併症 出血および神経障害について. 第21回顎顔面インプラント学会学術大会. 富山. 2017/12/9

#### 【研究会発表】

- 1) Kaku M. The Role of Ciliary Protein IFT20 for Bone Homeostasis in Cranial Neural Crest Cells. Developmental Genetics Group Meeting, University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, USA, Mar 16, 2018.

## 【受賞】

- 1) 秋葉陽介, 優秀発表賞: チタン表面の規格化ナノ構造形成による周辺細胞制御技術とこれを応用した次世代インプラントの開発. 第33回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」, 東京, 2017年8月31日。

## 【その他】

- 1) 魚島勝美: 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員  
 2) 魚島勝美: 医療系大学間共用試験実施評価機構臨床実習後 OSCE 準備検討委員会歯学系 WG 委員  
 3) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会教育問題検討委員会委員  
 4) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会評議員  
 5) 魚島勝美: 日本歯科医学教育学会評議員  
 6) 魚島勝美: 日本歯科医学教育学会国際化推進委員会委員  
 7) 魚島勝美: 新潟歯学会評議員  
 8) 魚島勝美: 口腔病学会評議員  
 9) 魚島勝美: 歯科技工士試験委員  
 10) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会専門医制度検討委員会委員  
 11) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会雑誌 査読  
 12) 魚島勝美: Journal of Prosthodontic Research 査読  
 13) 加来 賢: 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員  
 14) 加来 賢: 日本補綴歯科学会評議員  
 15) 加来 賢: Journal of Prosthodontic Research, Editor  
 16) 秋葉陽介: 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員  
 17) 秋葉陽介: 日本補綴歯科学会用語検討委員会委員  
 18) 秋葉陽介: 日本口腔インプラント学会関東甲信越支部シンポジウム委員  
 19) 秋葉陽介: 日本補綴歯科学会雑誌 reviewer  
 20) 秋葉陽介: Journal of Prosthodontic Research reviewer  
 21) 秋葉陽介: Dental Materials Journal reviewer  
 22) 秋葉陽介: Journal of Oral Rehabilitation reviewer  
 23) 秋葉奈美: 医療系大学間共用試験実施評価機構臨床実習後 OSCE 準備検討委員会歯学系 WG 委員  
 24) 秋葉奈美: 医療系大学間共用試験実施評価機構診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験歯学系トリアル実施小委員会委員  
 25) 長澤麻沙子: 日本歯科放射線学会診療ガイドライン委員会委員

## 【著書】

- 1) 高木律男: 榎本昭二監修: 最新口腔外科学第5版, 第5章2. 先天異常の治療. p717-721, 726-734, 第5章7. 良性腫瘍および腫瘍類似疾患の治療. p798, 医歯薬出版, 東京, 2017.

## 【論文】

- 1) Ikeno R, Yamada E, Yamazaki S, Ueda T, Nagata M, Takagi R, Kato S: Factors contributing to salivary human immunodeficiency virus type 1 levels measured by a Poisson distributionbased PCR method. J Int Med Res, 2017. doi: 10.1177/0300060517728652. [Epub ahead of print]  
 2) Horimizu M, Kubota T, Kawase T, Nagata M, Kobayashi M, Okuba K, Nakata K, Yoshie H: Synergistic effects of the combined use of human cultured periosteal sheets and platelet-rich fibrin on bone regeneration: An animal study. Clin Exp Dent Res, 2017. doi: 10.1002/cre2.71. [Epub ahead of print]  
 3) Takashima M, Arai Y, Kawamura A, Hayashi T, Takagi R: Quantitative evaluation of masseter muscle stiffness in patients with temporomandibular disorders using shear wave elastography. J Prosthodont Res. 61(4): 432-438, 2017.  
 4) Sakuma T, Kurose M, Okamoto K, Hasegawa M, Fujii N, Nakatani Y, Takagi R, Sugino S, Kodama Y, Yamamura K, Yamada Y: Use of a novel device to assess intraoral and intrapharyngeal baropressure during sound production. Folia Phoniatr Logop. 68(6): 274-281, 2017.  
 5) Yamada E, Takagi R, Tanabe Y, Fujiwara H, Hasegawa N, Kato S: Plasma and saliva concentrations of abacavir, tenofovir, darunavir, and raltegravir in HIV-1-infected patients. Int J Clin Pharm Ther. 55: 567-570, 2017.  
 6) 深井真澄, 大湊 麗, 高木律男: 口蓋裂言語が長期残存している成人口蓋裂患者の心理的受容過程. 新潟歯学会誌 47(2): 9-14, 2017.  
 7) 上野山敦士, 児玉泰光, 鶴巻 浩: 下顎骨に生じた周辺性骨腫の2例. 新潟歯学会誌 47(2): 37-43, 2017.  
 8) 成松花弥, 飯田明彦, 小林孝憲, 山田瑛子, 大貫尚志: 下顎角内側に生じた周辺性骨腫の2例. 口科誌 66(4): 298-302, 2017.  
 9) 吉田謙介, 田村 隆, 磯部浩和, 新木貴大, 中川裕介, 石田みなみ, 鈴木直人, 西川 敦, 船山昭典, 児玉泰光, 小林正治, 高木律男, 田邊嘉也, 外山 聡: 歯科領域における周術期患者の抗菌薬使用実態調